

筆都が育てる

筆都を育てる

## 熊野高等学校

### 「誠和園」「和楽園」を訪問

熊野高校の

JRC部と吹奏楽部

は、毎年熊野町内にあ

る老人ホーム「誠和園」、

「和楽園」を訪問し、入園

者の方々と交流を深めてい

ます。園の方々が毎年手縫

いの雑巾を熊野高校に贈つ

てくださるので、そのお礼

にという気持ちからこの訪

問が始まりました。

今回の訪問は2学期期末

試験の最終日、昨年12月11

日(木)の午後に訪問させてい

ただきました。入園者の方々

と一緒にゲームをしたり、

歌を歌ったり、演奏を聴い

ていただいたりしてとても

楽しいひとときを過ごすこ

とができました。

「緊張して硬くなってい

た私たちを、かけ声や手拍



子で温かく受け入れてくだ

さった園の皆さんに感謝し

ています。」「最初、どう

接していいのかわからなかつ

たけど、園の皆さんが優し

くしてくださったので握手

することができました。」「

先輩に誘われて思い切っ

て参加して本当によかった

です。」「次回はもつと皆

さんに楽しんでいただける

よう、頑張りたいと思っ

ています。」「参加した生徒

## あゆみ生活実習所にクリスマスプレゼント!!

昨年12月24日(水)のクリスマス・イヴに車いす用送迎車が山之内製薬『スリーナイン基金』から贈呈されました。

この『スリーナイン基金』とは、山之内製薬の社員が自主的に企画し、設立した社会貢献基金です。毎月100円を集めて全国の福祉施設を中心に車を贈呈しているものです。

今年は、広島県心身障害児者父母の会連合会を通じてあゆみ生活実習所に贈呈が決まりました。



あゆみ生活実習所は、障害者やその家族が支えあって地域で暮らそうと、16年前に発足した小規模作業所です。障害も様々ですが、その中で外出することはどの所生も大変大きな喜びだそうです。

今回の贈り物は、障害を持って生れた所生たちが、また一步、人生を豊かに暮らすための最高のクリスマスプレゼントでした!

(企画課)

## くまの歌壇

熊野短歌同好会

新らしき主あだじに会えしか由布岳の麓の蕎麦屋に忘れし帽子  
 よろこびも哀しみもすべて受留めて師走巡り来わが歳重ねん  
 元旦の光穂おたしく窓越に仰ぐ陽雲ひくもの白く輝く  
 陽ひの下に草食はむ馬や陽をよけて歩道に休む牛は親子か(隠岐)  
 秋さ中吾娘の結納祝はぐごとに「半兵衛庭園」に黄蝶舞いいる  
 秋雨のしとど降る夜は杳とほき日のくさぐさ憶いて寝ねがたくおり  
 幸が来るかと求めし宝くじ社会貢献で夢の果てたり

中本 寿美子  
 田中 洋子  
 中井 千代子  
 原森 喜久枝  
 高松 勝子  
 中井 桂子  
 大杉 徳子